

# 平成29年度実績に係る部局評価書

部局名：法学部・法学研究科

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
A	A	A

## 【評価区分1：部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
		平成29年度から早期卒業制度を実施し、説明会や面談などを通して制度利用希望者への支援を進めたことで、2年次に進級してからも16名が早期卒業候補者とされており、一定の成果が認められる。
【研究】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【社会貢献】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【グローバル化】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
		全国レベルのCALEコンソーシアムの設立に際し、設立及び参加呼びかけ校に名を連ね理事となり、優秀なアジア各国の留学生受入、アジア圏での知的交流ネットワークの実質化の道を開いた点が評価できる。
【業務運営】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。

## 【評価区分2：「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

### 【評価コメント】

全学生数に占める外国語力の基準を満たす学生数の割合(学部)について、意欲的に取り組むことで目標数値を達成し、実績を向上させたことが評価できる。

また、外国籍教員の割合について、積極的に外国籍教員を雇用することで、実績を大きく向上させたことが評価できる。